

住まいのかわら版



<発行>

株式会社 ミスタービルド福島
福島市西中央5丁目2-3
TEL.024-533-1251

加湿器の特性を知って快適に使いましょ
お肌やのどなどを健やかに保つのはもちろん、
ウイルス対策としても重宝される加湿器を効果的に使いましょ♪

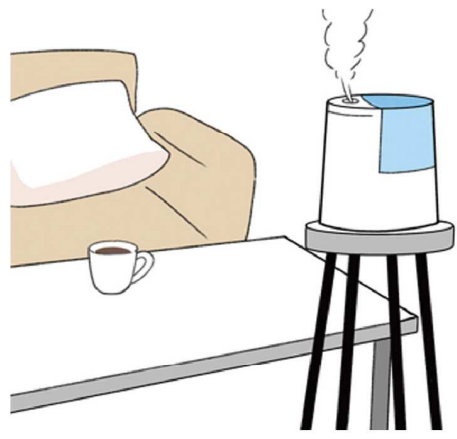
みなさまに暮らしと住まいを快適にするためのちょっとした役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「加湿器」です。

乾燥の時期に欠かせない加湿器。部屋の湿度を40〜60%に保つと快適だと言われています。そこで代表的な加湿器の特徴などを紹介します。

加湿器の種類とさまざまな特徴を知ろう

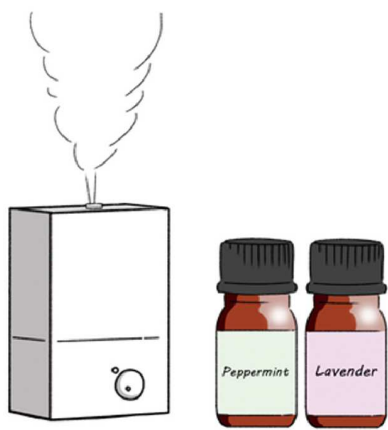
加熱式は、文字通り、水を加熱した蒸気によって加湿します。メリットは、比較的早く部屋を潤すことができることや、加熱するので、タンク内の雑菌が繁殖しにくいことも。デメリットは、蒸気が熱くなるので、小さい子どもやペットがいると、やけどの心配があることと、電気代が比較的高いことがあります。

気化式は、水を蒸発させることで加湿。部屋干しの洗濯物に扇風機を当てて乾かすイメージに近いです。メリットは、電気代が安いことや、常温の水を気化させるので、やけどの心配



加熱式は広い部屋を効率的に加湿したいときはおすすめです。

がないこと、湿度センサーがついたタイプだと、ある程度湿度をコントロールしてくれるので、過剰に加湿する心配も少ないようなので、寝室や子供部屋に向いています。デメリットは、部屋の湿度を下げてしまうので、暖房器具による室温の調節が必要なことや、使い続けると本体のタンク内の雑菌が繁殖する恐れがあるので、こまめなお手入れが必要なことがあります。



超音波式は、アロマを楽しめるものもあります♪

超音波式は、超音波によって水を振動させ、ミストのような細かい粒を放出させて部屋を加湿する方式。メリットは、サイズやデザイン、安価なものなど、スタイルが豊富で、仕事のデスクに置いてピンポイントで加湿するなど、さまざまなシーンで使い勝手が良いことや、電気代が安いこと。デメリットは、気化式と同様、本体のタンク内の雑菌が繁殖することがあるのでこまめなお手入れが必要なことです。

加湿器の使い方のポイント

加湿器を置く場所は、ズバリ！部屋の中心付近。効率良く部屋全体を加湿できます。部屋の中心に置くのが難しい場合は、エアコンの吸入口の近くに置くことで、エアコンの風とともに加湿された空気も部屋に広がります。ちなみに、壁際や窓際に置くと、カビや結露の原因になりますし、家電のそばに置くと故障の原因に。木製家具の近くも、湿度によって劣化させてしまう恐れがあるので、おすすめしません。また、部屋の出入り口付近も、せっかく加湿された空気が逃げやすくなるので、避けたほうが良いです。

置く高さも重要で、湿気は、下に貯まりやすいので、床から50センチ〜1メートルの高さが良いそうです。



どのタイプの加湿器も、水道水を使いましょうね

ちなみに、寝室で使う場合、一晩中加湿器稼働させると、湿度が上がりにすぎってしまうので、タイマーで一定時間後に消える設定をすることをおすすめします。使う水ですが、キレイな空気を出したい！と思ってミネラルウォーターを使いたくなりますが、塩素殺菌されていないので、カビや雑菌が繁殖しやすくなるので避けましょう。

頭の体操
間違いさがしゲーム

上下のイラストで違うところが5箇所あります。さあ！チャレンジしてみてね！

答えは左をみてね！

間違いさがし答え: ①お父さんの恵方巻の具 ②お盆の恵方巻の数 ③お母さんの腕の位置 ④男の子の皿 ⑤女の子の髪型

寒さは健康の大敵

暖かい部屋でおうち時間も幸せ!

住まいの快適レポート

春の訪れも一步一步近づいていますが、まだまだ寒い日は続き、体にダメージを与えがち。健やかに、幸せに過ごすあったかりフォームを一考。

暖かい部屋にするだけで、健康生活が格段にアップ!

真冬の早朝はベッドからなかなか起き上がれない。部屋が寒くて暖房器具の前から離れられない……。寒さを感じると人間の活動は鈍くなる傾向があるそう。それにより、さまざまな健康障害を招くことにも。要因を探り、自分で簡単にできる対策やプロの手を借りて暖かい部屋に。健やかな暮らしを実現しましょう!

暖かい部屋のメリット

活動時間が増え健康的に

断熱リフォームなどによって部屋が暖かくなると活動時間の増加が見られるという調査結果が。階段を昇り降りしたり、テレビを見ながらストレッチしたり、わずか10分程度でも体を動かすことを意識するだけで、生活習慣病のリスクが軽減するとされます。



睡眠の質が上がり免疫力アップ

夜中に何度もトイレに起きる。そんな夜間頻尿に悩まされている方は寝室の室温を18℃以上にキープ。夜間頻尿が改善されると睡眠の質を高め、免疫力アップも期待できます。

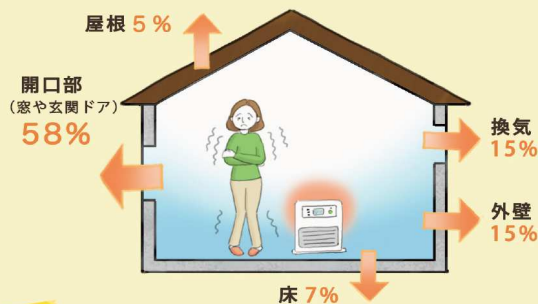
寒暖差を減らして高血圧予防

日本人の3人に1人は高血圧だそう。食生活や運動に加え、寒暖差を減らすことも血圧低下につながります。高齢者のいる家庭では部屋間の温度差によるヒートショックの危険が潜んでいます。特に脱衣所と浴室の温度差をなくす工夫を。

寒い部屋の要因と対策

熱が外へ流出していることが一番の理由。中でも流出される割合の約6割を占めるのが窓や玄関ドアなどの開口部です。つまり開口部の断熱が暖かい部屋作りへの近道です!

冬住まいの熱の流出割合



対策

- 断熱性の高い窓や、すきま風をシャットアウトする気密性に優れた窓ヘリフォーム。
- 市販の窓用断熱シートやすきまテープなどを利用。窓用シートは水で貼り付けたりシールタイプなど手軽にDIYできます。
- カーテンを厚めのものにして、床よりも長めに。暖房費の節約にも。
- 晴れた冬の屋間に南側の窓から入る日照量は夏の約2倍だそう。太陽の熱を活用して暖かさをキープしましょう。

オススメ商品 ココエコ

薄型断熱パネルで気軽に断熱リフォームして、夏は涼しく・冬は暖かい快適空間へ!

ココエコの主な特徴

- 一部屋からできる、省エネ・エコリフォーム
部屋の断熱性アップで、エアコン効率UP。
冷暖房費・CO2を削減します。
- 住みながら簡単施工
薄型高性能パネルで解体工事が不要!
工期も短く、住みながらリフォーム出来ます。
- 費用もリーズナブル
一部屋単位で断熱リフォームが出来る為
費用もリーズナブルです。



© 株式会社 LIXIL



© 株式会社 LIXIL

商品のお問合せは...



株式会社 ミスタービルド福島

福島市西中央5丁目2-3 TEL.024-533-1251